



第12回 脳研・高度先進合同セミナー

日時：平成19年11月6日（火）17：00～18：30

場所：基礎第3講義室（脳研一階奥）

第1演者 張 海心さん（脳神経病理学講座）

要旨：昨年、ALSおよび前頭側頭型認知症に共通する標的蛋白としてTDP-43が同定された（Science 2006）。今回、通常のALS（14例）と認知症を伴うALS（6例）を対象に線条体の免疫組織化学的検討を行ったところ、ALS20例中19例にTDP-43陽性封入体（神経細胞とグリア細胞）が認められ、認知症を伴うALSでより高頻度であった。

第2演者 柿崎 育子先生（糖鎖工学講座）

要旨：プロテオグリカンは、コアとなるタンパク質とグリコサミノグリカン糖鎖から成る複合糖質である。グリコサミノグリカン糖鎖の構造と機能の相関は、その構造の複雑さゆえに、明らかにされた例はごく少数である。我々は、糖鎖工学的アプローチによるグリコサミノグリカン糖鎖の機能探索を目指している。本セミナーでは、当研究室で開発されたウシ精巢性ヒアルロニダーゼを用いたグリコサミノグリカン糖鎖の組み換えの例とその応用例を紹介する。

どうぞお気軽に御参加下さい。学生の参加も大歓迎です。

Information:

若林孝一（5130），伊東健（内5157）